

活動名：第4回空港公園杯8人制ジュニアサッカーフェスティバル

日 程：平成25年6月8日（土）～9日（日）

会 場：福島空港公園 緑のスポーツエリア 多目的運動広場（天然芝）

内 容：U-12（6年生以下）の部、U-10（4年生以下）の部

参 加：エンジョイ4～トップ6クラス 38名

帯 同：設楽・小松・熊坂・渡邊・安藤・矢吹コーチ

報 告：設楽・熊坂・渡邊

T6クラス報告：熊坂

参 加：T6男子チーム（6年生11名）

結 果：U-12の部 **優勝**（6チーム参加）

対戦相手：○常葉 ○小野 ○行健 ○猪苗代 ○AllezT5

今回の大会にはU12の部にT6、T5の2チーム、U10の部にE4チームが参加し、私はT6チームを担当しました。

6年生になって初めての大会です。

練習試合をやっていないので対戦相手との力関係が全く分からず不安はありましたが、2ヶ月間やってきた練習（ドリブル・1対1）の成果がどこまで通用するのか期待を持って挑みました。

選手達に目標を聞いたら「優勝・2連覇」と言っていました。

今年の6年生はとても仲良しで楽しくサッカーをやっている雰囲気があり、あまりハングリーではないので正直、驚きました。また初めての大会なのにとっても高い目標だなあと……。選手達に楽しいサッカーだけでなく勝ちたいと思う気持ちが芽生えてきた事を嬉しくも感じました。6年生になって今まで以上にサッカーに真剣に向き合ってきている証でもあるのかも知れません。そんな選手達を勝たせてあげたいと私も強く思いました。

しかし簡単に優勝なんて出来ませんので選手達には、優勝を考えずに目の前の試合で一人一人が全力を出し切る事だけ約束しようと話しました。

初日、1試合目。

緊張でガチガチ。ボールも落ち着かず全く周りが見えていない状態でした。

試合経験不足が出てしまいました。

しかし何とか得点してからはやっと落ち着いて普段のみんなのプレーを見せてくれました。その後は1試合1試合、試合をする度に成長していく姿を見せてくれて驚かされました。ポジショニングや攻守の切り替え、攻撃のアイディアなど教えていない事も沢山見せてくれて頼もしかったです。

結果はなんと5戦全勝で優勝しました。まさか優勝するとは……。正直な私の感想です。

今回の優勝は普段の練習からしっかり取り組み、高い目標を持って努力してきた選手達自

身で勝ち取った優勝です。

本当におめでとう！

この優勝を自信に更に成長してくれる事を期待しています。

今回T6とT5の2チームが参加し、6年生のガールズの選手をT5チームへ移動しました。6年生単体チームでの参加も考えましたが、指導者の最終判断として6年生の試合経験を沢山させてあげる事を最優先としてチーム分けをさせていただきました。どうかご理解下さい。

T5チームの試合も見ましたが6年生はとても頑張っており、素晴らしい活躍をしていました。成長している姿を見させてもらいとても嬉しかったです。またT6の優勝はT6の選手だけでなく6年生全員が普段の練習から取り組んできた結果です。仲間として一緒に喜んで頂けたら幸いです。

今後の大会は6年生一丸となって戦っていきたいと考えておりますので宜しくお願いします。

このような素晴らしい大会を開催して頂きました福島県都市公園・緑化協会様ありがとうございました。

また大会関係者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

2日間暑い中、応援して下さいったご父兄の皆様、ありがとうございました。

ご父兄の皆様の温かい声援と支えがあって選手達が最高のプレーを披露する事が出来ました。これからも大会は続きますがご協力をお願いします。

2日目に応援に来てくれた中学生のみんな、ありがとう！

みんなの姿を見て選手達はとても喜んでいました。本当にありがとう！

部活が忙しいと思いますがこれからも後輩達の為に時間があったら指導や喝？を入れに来てあげて下さい。

誰かに強制された訳じゃなく、自分の意思で後輩達の応援に来てくれる先輩達。またその声援に応えようと一生懸命プレーする選手達。指導者の私が言うのもなんですがアーレって本当に素晴らしいチームですね。



報 告：設楽コーチ

参 加：T6 女子+T5 クラス合同チーム

(6年生女子4名・5年生9名・4年生3名) 16名

結 果：U-12の部 **5位** (6チーム参加)

対戦相手：○常葉 ○小野 ●行健 ●猪苗代 ●AllezT6

毎年恒例となった福島空港公園の8人制サッカーフェスティバルですが、通常ですと6年生と4年生の2チームで参加しますが、今年はU-12の部に不参加のチームがあり、トップ5クラスも出場できることになりました。ラッキーです！

さて、私が帯同したこのチームは、とても厳しい条件でした。

6年生の大会に5年生以下がメイン、男女同人数の混合メンバー、参加人数が多いことなどから、とても難しい戦いでした。選手たちの優勝したい気持ちは強く、私も何とか結果を出してあげたい気持ちでした。

この大会はメンバー全員を出場させる条件のため、女の子たちは体力面からも厳しいことから、一試合12分の1本を限度とし、男の子たちは頑張ってもらうため2本に出してもらいました。そのような状況から個々の技術を均等したメンバー構成を考えました。

選手たちはとても貴重な経験の場となり、一戦一戦、個々の特徴を出し、のびのびとプレーしてくれました。選手たちは試合を終えるごとに自信を持ち、成長していく姿を感じました。

日々の練習は個々のスキルアップが中心なので、即席のチームとして戦術をその場で伝えることは難しく、なかなか選手たちも理解できません。そのため、基本的なことを試合前に伝え、みんなに理解させました。あたり前のことですが、メンバー全員を男女問わず仲間として協力しあうこと、仲間が傷つくような「何をやってんだ！」などの声を出さないことでした。女の子たちは女子同士ではのびのびとプレーできますが、男の子たちとの混成では委縮してしまう子がほとんどです。男の子たちは女の子たちのプレーに満足いかずに、ボールを出さなかったり、文句を言ったりと情けない場面を練習時に見ることがあります。コーチたちもその都度注意していますが、大会ではやはり勝ちたい気持ちで、このような場面が出てきてしまいチームワークが崩れて酷い試合になることを懸念しました。サッカーの戦術どうのこうのより、このようなことはとても基本的で重要です。

そんなことを伝えながら、5試合もあると、気になる場面も多々ありましたが、チームワークは何とか保たれ、みんながチャレンジする気持ちで、勝つことを意識し、諦めない気持ちで相手に挑んでくれました。外から見てみると体の大きな相手に挑んでいく姿は頼もしく見えました。

改めて、サッカーはチームメイトや相手チームや関係者を大切にし、その人たちの気持ちを理解するとともに仲間と助け合い助けられながら、自分の持っている力や技術を最大限に発揮するチャレンジ精神のスポーツです。このことから、一番は自己中心的にならず『相手を敬う気持ち』です。

サッカーの世界は社会と一緒に、選手たちは今回の大会（経験）でこのようなことを学んでくれたと思います。

ある審判をされた方から言われました。「アーレの選手たちは、試合前後の握手のあいさつで全員が目を見て握手してきますね！」と。これも日々私たちが伝えていることを選手たちはしっかりと身につけて実践してくれているんだなと嬉しく思いました。

優秀選手は「小松ちほみちゃん」を選出させてもらいましたが、他にも活躍した選手はいましたが、女子ながらも勇気を持ってボールを追いかけ、男の子に立ち向かっていく二日間に感動しました。女子サッカーが盛り上がっている今、アーレの女の子たちをひっぱって行って欲しい気持ちのご褒美でした。

今大会は全試合において接戦の素晴らしい戦いでしたが、来年6年生になり、今回の6年生たちが優勝してくれたように、この世代も今回の経験と悔しさをばねに頑張ってくれることと思います。

二日間、試合で交流させていただきました参加チームの皆さん、素晴らしい試合ができ感謝します。また、朝早くからの子ども達の送迎と応援をいただき、大会を盛り上げていただき有難うございました。また、準備や片づけなど率先して協力いただき、有難うございました。最終日に後輩たちの応援にかけつけて来てくれた中学生たちはとても嬉しかったです。有り難うございました。

また、次の目標に向かって頑張っていきましょう！



感想：渡邊コーチ

U-10の部参加：E4クラス（4年生：10名・3年生：1名）11名

結果：準優勝（6チーム参加）

対戦相手：△小野 ○猪苗代 ●中央ドリマ ○富田 ○常葉

福島空港公園が主催する第4回空港公園杯8人制ジュニアサッカーフェスティバルに、E4クラス11名と参加しました。

新クラスとなり、初めての大会!!!選手がどのような動きをするのか、楽しみと不安が半分で大会に臨みました。

第1試合の開始前に、みんなの意思を確認したところ、全員が「優勝したい!」と。

そこで優勝するための約束ごととして、次のことを伝えました。

○チーム全体の約束

- ・味方の選手を信頼すること。
- ・得点を決めたら全員で喜ぶこと。

○ポジション

- ・状況によって、味方の選手との距離（近づく、離れる）に気を付けること。

○攻撃の約束

- ・相手チームより多くシュートを打つこと。

○守備の約束

- ・相手の選手を自分たちのペナルティエリアに入らせないこと。
- ・1対1は絶対に負けないこと。
- ・ボールを奪われたら取り返すこと。

○その他

- ・ファールスローなどのつまらない反則をしないこと。

そしてこの約束のなかで、一番、選手たちに意識させたことは「相手より多くシュートを打つこと」でした。

1試合目は、緊張からか動きが硬くいつもの勢いがなく0対0の引き分けでした。シュートは数本しか打てなかったですが、味方への指示やポジショニングが良かったため無失点に抑えたことで、全員がある程度の手ごたえを感じたようでした。

2試合目、緊張から解放されたこと、1試合目を無失点に抑えたことによる自信から、1試合目とはまったく違うチームになっていました。特に2試合目は攻撃がすばらしかったです。もともとこのクラスは、ドリブルが好きな選手が多いこともありますが、“相手を抜くドリブル”、“ボールを運ぶドリブル”などを状況に応じて使い分けていたため、ボールを奪ってから、シュートするまでノッキングすることなくスムーズにボールを運ぶ回数が多かったです。

一人の選手は、ペナルティエリア付近までドリブルで上がっていくと、左にいたフリー

の選手が目に入ったのでしょうか。相手選手を3人ひきつけてから、その選手に絶妙なパス。「ドリブル→シュート」しかなかったプレーの選択肢にもう一つプレーの幅が広がった瞬間でした。この試合の反省点は、全員が前掛かりとなっており、カウンターをくらい危うく失点する場面が何回かありましたが、今チーム唯一の女子選手がしっかりとケアしてくれたため、6対0で勝利することが出来ました。

3試合目、結果から言いますと0対3で敗北。この試合では、完全に相手チームにゲームを支配されてしまい、ギリギリで相手の攻撃を跳ね返していましたが……。そして、この負けによって、全員が再度、勝利するには、朝約束した決まりごとが大切だということに気付いてくれたようでした。

結局、初日は、1勝1敗1分け。

4試合目、優勝するには、初日に1勝しかしていなかったため、今日の2試合は全て勝つことが最低条件でした。そして、あとは神様に……。そんなこんな状況での4試合目でしたが、ピッチに立った選手全員が自分の持ち味を存分に発揮し4対0で勝利。

5試合目、この時点で優勝は無くなっていたが、まだ準優勝の可能性があったため、大量得点による勝利が絶対条件となりましたが、選手たちの気迫が相手選手を上回り2対1で勝利。

結果、3勝1敗1分け（31得点3失点）

準優勝!!!おめでとう!!!!

優秀賞は、チームのために最終ラインでバランスをとっていた選手、終始ピッチを縦横無人に走りまわりゴールを決めた選手、積極的にドリブルで仕掛けていた選手、奪われたボールを必死で奪い返しにいった選手、1対1の場面でスーパーセーブしたGK、GKなのに相手ゴール前にいた選手(?)など。数々の素晴らしいプレーや迷プレー(笑)があり、最後まで悩みましたが、今回は主にDFとしてプレーしていたにもかかわらず、守備だけでなく試合の流れを読んで積極的に攻撃にも参加し、守備時は自分のマークを確認し積極的にボールを奪いにいき、またカバーのポジショニングも良く今大会6得点でチーム得点王となった菅家鼓太郎さんに決めました。

今回の大会をとおして、E4クラスのドリブル技術にある程度の手ごたえを感じました。しかし、そのドリブルの技術を最大限に活かしていないという課題も見つかりました。具体的に言いますと、場面や状況に応じたドリブルの選択ミスがあり、“相手の背後にスペースがなく、カバーしている選手がいるのに大きいタッチのドリブルをしてしまう”、“自陣ゴール前で内側にドリブルしてしまう”、“相手に近いほうにボールを置いてドリブルする”などです。せつかくの技術(アウトサイドドリブル、インサイドドリブルなど)も使う場面や状況に応じて使用しなければ、意味がありません。アウトサイドやインサイドなどのドリブルの技術は高くなってきました。次は“いつどこで、どのタイミングでどのドリブルをするか”を判断しながらプレーできるよう、更なるスキルアップを目指して頑張ろう!!また、今大会は、初日が11名、二日目が9名と少ない参加人数にも関わらず、

最後まで諦めず、全力でプレーしていた姿に感動しました！

このような素晴らしい大会を主催していただきました大会関係者の皆様ありがとうございました。ご父兄の皆様、二日間応援ありがとうございました。

